

- 問1 ある藩の記録によると、1771年にロシア船が来航した際には薪や食料を与えて対応していましたが、1829年にイギリス船が現れた際には、鐘や太鼓を鳴らして警備を固め、予告なしの砲撃で威嚇して追い払うという対応の変化が見られました。このように、18世紀後半と19世紀前半で幕府や諸藩の対応が大きく変わった背景にある法令は何ですか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 薪水給与令

2. 異国船打払令

3. 禁中並公家諸法度

4. 武家諸法度
- 問2 日本の歴史における時代区分について、織田信長や豊臣秀吉による天下統一の動きから、徳川氏による江戸幕府の統治が終わるまでの時代を指す用語として、最も適切なものはどれですか。 （2018年 岡山県公立入試 類似）

1. 近世

2. 近代

3. 古代

4. 中世
- 問3 江戸時代の大阪は、全国から多くの物資が集まる流通の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。1700年代初頭の統計によれば、大阪へ運び込まれた商品のうち、菜種や材木、肥料用の干鰯（ちいわし）などを抑えて、取引額が圧倒的に第1位であった品物は何ですか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）

1. 米

2. 大豆

3. 生糸

4. 綿布
- 問4 徳川吉宗が「米将軍」と呼ばれる背景となった政策のうち、幕府の安定した収入を確保し、財政の基礎を固めるために実施された取り組みとして、その内容と目的が合致している説明はどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 商人たちの組織である株仲間を公式に認め、そこから運上金などの税を徴収することで、商業資本による財政再建を図った。

2. 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。

3. 長崎での貿易を制限することで金や銀の流出を抑え、国内の通貨流通量を調整することで物価の安定を図った。

4. 江戸に流入した農民を強制的に農村へ帰すことで、米の生産量を維持し、都市部の治安維持を図った。
- 問5 江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、堂島の米市場を描いた資料などからは、大量の米俵が運び込まれ、多くの人々が取引に集まる活気ある経済活動の様子がうかがえます。このような市場での流通を支配し、幕府から営業の独占を認められていた商人の組織を何と呼びますか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 専売制

2. 株仲間

3. 楽市・楽座

4. 座
- 問6 江戸時代に本居宣長が大成させた「国学」の目的や背景について述べた文として、正しいものを選んでください。 （2024年 高知県公立入試 類似）

1. 武士が政治を行う正当性を裏付けるために、朱子学に基づいた道徳観を全国に普及させた。

2. 欧米諸国の科学技術を取り入れることで、日本の近代化を推し進めることを最大の目的とした。

3. 身分制度を否定し、すべての国民が平等であるという民主主義的な思想を確立しようとした。

4. 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。
- 問7 18世紀後半、老中の地位に就き、それまでの農業に依存した財政から、商業の力を利用した財政への転換を図った人物は誰ですか。 （2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 徳川吉宗

2. 松平定信

3. 田沼意次

4. 水野忠邦
- 問8 フランス革命以前のヨーロッパで見られた、国王が強大な権力を持ち、議会を無視して専制的に国を治めていた政治体制を何というか。 （2019年 島根県公立入試 類似）

1. 共和制

2. 直接民主制

3. 立憲君主制

4. 絶対王政
- 問9 ラクスマンが来航した際、ロシアでの長い滞在を経て日本に帰国し、その見聞が『北槎聞略』などの記録として残された、伊勢出身の漂流民は誰ですか。 （2018年 大阪府公立入試 類似）

1. ジョン万次郎

2. 津太夫

3. 音吉

4. 大黒屋光太夫
- 問10 江戸幕府は、身分秩序を重んじ主君への忠義を説く儒教の一派を、政治の安定を図るための「正学」として位置づけました。幕府の直轄機関である昌平坂学問所などで、武士に対して学ぶことを奨励したこの学問の名称を選びなさい。 （2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 天文学

2. 蘭学

3. 国学

4. 朱子学
- 問11 江戸幕府の三代将軍である徳川家光が、武家諸法度を改正して定めた、大名に対して一年おきに江戸と自らの領地を往復させる制度を何といいますか。 （2023年 福島県公立入試 類似）

1. 御成敗式目

2. 検地

3. 参勤交代

4. 天下普請
- 問12 松平定信が「寛政の改革」を行った社会的な背景と、その目的について正しく説明しているものはどれですか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 株仲間を積極的に公認することで商業を活性化し、商人から徴収する税金によって幕府の財政を再建しようとした。

2. 西洋の学問を積極的に取り入れることで軍勢力を強化し、外国船の来航に備えた海防を充実させようとした。

3. 天明の飢饉などによる社会の混乱を収めるため、武士の困窮を救い、農村の立て直しを図ることで幕府の権威を回復させようとした。

4. 長崎での貿易を制限し、銅などの輸出を減らすことで国内の金属流通量を確保し、物価を抑制しようとした。
- 問13 17世紀後半のイギリスで行われた名誉革命に際して、議会が国王に認めさせ、法律として制定された文書は何ですか。この文書によって、国王の権力は制限され、議会政治がより強固なものとなりました。 （2022年 岡山県公立入試 類似）

1. 権利の章典

2. マグナ・カルタ（大憲章）

3. 人権宣言

4. 独立宣言
- 問14 江戸時代後半の文化において、浮世絵の新しい境地として「風景画」を確立し、富士山を様々な場所や角度から描いた「富嶽三十六景」などの代表作を持つ人物は誰ですか。 （2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 葛飾北斎

2. 歌川広重

3. 尾形光琳

4. 菱川師宣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 異国船打払令	18世紀後半（1771年など）の時点では、幕府は外国船に対して個別に柔軟な対応をとることもありましたが、イギリス船によるフェートン号事件などをきっかけに警戒感が強まり、1825年に「異国船打払令」を制定しました。この法令によって、地方の諸藩も外国船に対して「問答無用で砲撃する」という厳しい対応を義務付けられるようになりました。記述にある徳島藩の対応の変化は、まさにこの法令の影響を直接受けたものといえます。
問2	答え 1 近世	日本の歴史において、安土桃山時代と江戸時代を合わせた期間は「近世」と呼ばれます。これは鎌倉時代や室町時代などの「中世」と、明治維新以降の「近代」の間に位置づけられる時代区分です。強力な中央政権によって全国的な支配体系が整えられたことが特徴です。
問3	答え 1 米	江戸時代、全国の諸藩は年貢として徴収した米を換金するため、大阪に「蔵屋敷」を置いて運び込みました。当時の大阪は、米のほかにも各地の特産品が集まる物流の要衝であったことから「天下の台所」と称され、特に米の取引価格は全国の基準となっていました。
問4	答え 2 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。	享保の改革では、幕府の財源である年貢を増やすために耕作地の拡大が不可欠でした。そこで、民間の資金や技術を活用する「町人請負新田」などを認めることで、大規模な新田開発を推進しました。また、年貢率を固定する「定免法」の採用や、米の価格を安定させるための市場調整など、米を中心とした経済体制の強化に努めたことが吉宗の通称の由来となっています。他の選択肢は田沼意次や水野忠邦による政策の内容です。
問5	答え 2 株仲間	江戸時代に幕府や藩から公認された商人の同業者組織を「株仲間」と呼びます。彼らは「株」を持つメンバーだけで営業を独占し、自由な商売を制限する代わりに、幕府に税を納めました。大阪の堂島米市場などの大規模な物流拠点においても、これらの組織が重要な役割を果たし、経済を動かしていました。
問6	答え 4 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。	国学は、当時の日本で重視されていた儒教（中国の思想）や仏教（インド由来の宗教）といった外来の教えではなく、日本独自の古典（『古事記』『万葉集』『源氏物語』など）を研究対象としました。本居宣長は、そうした文献を通じて、外来の思想に染まる前の日本人のありのままの心や精神を究明しようとした。この思想は、のちに尊王攘夷運動など幕末の政治運動にも影響を与えることとなります。
問7	答え 3 田沼意次	10代将軍徳川家治の時代に実権を握り、商工業者が結成した株仲間を積極的に公認して税を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して倭物などの輸出を増やし、金銀の流出を防ぐとともに幕府の財政再建を目指しました。
問8	答え 4 絶対王政	17世紀から18世紀のヨーロッパで見られた、国王の権力が絶対的であるとする体制を指します。フランスでは、この体制下での深刻な財政難や身分間の著しい格差が市民の不満を招き、絶対王政の打破を目指す市民革命が引き起こされる要因となりました。
問9	答え 4 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は、嵐で遭難してロシアに漂着し、約10年にわたってシベリアやサンクトペテルブルクに滞在しました。ロシア女帝エカチェリーナ2世に謁見して帰国を請願し、ラクスマンの船で日本に帰ることができました。帰国後、彼のロシアでの見聞は蘭学者の桂川甫周によって記録され、当時の知識人に大きな影響を与えました。
問10	答え 4 朱子学	江戸幕府は、君臣の上下関係を明確にする教えが幕藩体制の維持に都合が良いと考え、この学問を公式の学問として採用しました。特に寛政の改革では、昌平坂学問所においてこれ以外の学問を禁じる「寛政異学の禁」が出されるなど、武士の必須教養として確立されました。
問11	答え 3 参勤交代	徳川家光は1635年に武家諸法度を改正し、それまで慣習的に行われていた江戸への出仕を「参勤交代」として制度化しました。これにより、大名は一年おきに江戸に滞在し、それ以外の期間は自分の領地で政務を行うことが義務付けられました。
問12	答え 3 天明の飢饉などによる社会の混乱を収めるため、武士の困窮を救い、農村の立て直しを図ることで幕府の権威を回復させようとした。	18世紀後半は天明の飢饉などにより農村が荒廃し、都市部でも打ちこわしが頻発していました。松平定信は、田沼意次が進めた商業重視の政策を改めて農本主義を徹底し、旧里帰農令による農村復興や棄捐令による武士の救済を通じて、幕藩体制の維持と強化を試みました。
問13	答え 1 権利の章典	名誉革命の際に議会が提出した「権利の宣言」を、翌1689年に法律として承認させたものです。国王が議会の同意なしに法律を停止することや、課税を行うことを禁止しました。これにより「国王は君臨すれども統治せず」という立憲君主制の原則が確立され、のちにイギリスが19世紀半ばに世界初の万国博覧会を開催できるほどの国家的な安定を築く基盤となりました。
問14	答え 1 葛飾北斎	化政文化期に活躍した浮世絵師で、それまでの美人画や役者絵が中心だった浮世絵に、本格的な風景画というジャンルを定着させました。斬新な構図や色彩感覚は、のちに19世紀末のヨーロッパの芸術家たちにも大きな影響を与えたことで知られています。

- 問1 日本の歴史における各時代の文化や社会状況について述べた説明のうち、奈良時代の事柄として最も適切なものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、本格的な稲作が全国に広まった。
 2. 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。
 3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして承久の乱を起こし、浄土宗などの新しい仏教が広まった。
 4. 幕府が諸大名を統制するために武家諸法度を定め、町人の間では浮世絵などの文化が栄えた。
- 問2 享保の改革と寛政の改革の間に位置する、田沼意次が実権握った時期の政策について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 貨幣経済の浸透に対応するため、株仲間の結成を奨励して運上や冥加などの税を徴収した。
 2. 長崎貿易での銀の流出を防ぐため、銅や俵物の輸出を制限して鎖国体制をより厳格にした。
 3. 農村の復興を最優先し、江戸に流入した農民を強制的に帰村させて農業生産力の回復を図った。
 4. 武士の困窮を救うため、札差に対して旗本・御家人の借金を帳消しにする棄捐令を発令した。
- 問3 16世紀後半から17世紀半ばにかけて、ネーデルラント（現在のオランダなど）の人々が、カトリックの信仰を強制する他国の支配から脱するために独立を宣言しました。このとき、オランダが独立を勝ち取った相手国はどこですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
1. フランス
 2. スペイン
 3. イギリス
 4. ポルトガル
- 問4 18世紀後半から19世紀後半にかけての日本の歴史的出来事について、時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。なお、選択肢に含まれる出来事は「松平定信による寛政の改革」「天保のききに際して起きた大塩平八郎の乱」「水野忠邦による天保の改革」「幕末の社会不安の中で流行した『ええじゃないか』」の4つとします。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → 天保の改革 → ええじゃないか
 2. 寛政の改革 → 天保の改革 → 大塩平八郎の乱 → ええじゃないか
 3. 大塩平八郎の乱 → 寛政の改革 → 天保の改革 → ええじゃないか
 4. 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → ええじゃないか → 天保の改革
- 問5 1716年の享保の改革開始から、1843年の天保の改革終了までの期間に該当する、当時の文化や学問の動向として最も適切な説明を選んでください。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 紀貫之らが最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂し、国風文化が発展した。
 2. 黒田清輝がフランスで学んだ印象派の画風を日本に伝え、西洋画を普及させた。
 3. 本居宣長が日本の古典を研究して『古事記伝』を著し、国学を大成させた。
 4. 出雲の阿国が京都でかぶき踊りを披露し、のちの歌舞伎の原型を作った。
- 問6 江戸時代、日本の将軍の代わり目や世継ぎの誕生といった慶事がある際、朝鮮国王から派遣された使節団を何と呼びますか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 遣唐使
 2. 謝恩使
 3. 朝鮮通信使
 4. 慶賀使
- 問7 江戸幕府は武家諸法度を制定して城の修繕を制限したり、のちに参勤交代を義務付けたりするなどして大名に対して強い制限を設けました。幕府がこのような大名統制を行った背景や理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
1. 朝廷に政治の実権を戻し、幕府の政策を正当化するため
 2. 海外との貿易を急速に拡大させ、幕府の財政を豊かにするため
 3. 全国の町人や農民の負担を減らし、生活基盤を保護するため
 4. 大名の経済力や軍勢力を抑えて幕府の支配体制を長期的に安定させるため
- 問8 1637年に九州で発生した島原・天草一揆が鎮圧された後、現地の社会状況は壊滅的な打撃を受けました。当時のある大名が記した書状には、一揆から5年が経過してもなお現地の疲弊が続いている様子が記されています。この一揆の終結後、島原・天草地方で起こった深刻な社会問題として最も適切なものはどれか答えなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 一揆に参加しなかった農民が特権階級となり、幕府による直接統治が始まった。
 2. 多くの戦死者や処刑者が出たことにより百姓が著しく不足し、耕作地が荒廃した。
 3. 大名同士が領地を奪い合って激突したため、大分県などの周辺地域まで戦火が拡大した。
 4. キリスト教の信仰が広く認められるようになり、ヨーロッパとの貿易がさらに盛んになった。
- 問9 18世紀末のフランスの社会状況を風刺した絵画には、聖職者と貴族が「税や労役」を象徴する重い石を平民に押し付けている様子が描かれています。このような、フランス革命以前の不平等な社会体制を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 封建制度
 2. マニユファクチュア
 3. アンシャン・レジーム (旧制度)
 4. 名誉革命
- 問10 江戸時代、全国の諸藩が「蔵屋敷」を設置し、年貢米や各地の特産物を運び込んで取引を行った、物流の中心地を何と呼びますか。瀬戸内海の東端に位置し、水上交通の要所であったその都市の通称として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 日本第一の港
 2. 三都の首府
 3. 天下の台所
 4. 将軍の膝元
- 問11 江戸時代、徳川将軍の居城があり、幕政を司る機関が置かれた江戸は、政治と軍事の中心地として機能していました。このような役割を持つ江戸を指して用いられた通称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 天下の台所
 2. 蔵屋敷の集積地
 3. 八百八橋の都
 4. 将軍のおひざもと
- 問12 徳川吉宗が「米将軍」と呼ばれる背景となった政策のうち、幕府の安定した収入を確保し、財政の基礎を固めるために実施された取り組みとして、その内容と目的が合致している説明はどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 商人たちの組織である株仲間を公式に認め、そこから運上金などの税を徴収することで、商業資本による財政再建を図った。
 2. 江戸に流入した農民を強制的に農村へ帰すことで、米の生産量を維持し、都市部の治安維持を図った。
 3. 長崎での貿易を制限することで金や銀の流出を抑え、国内の通貨流通量を調整することで物価の安定を図った。
 4. 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。
- 問13 江戸時代には五街道などの交通網が整備されました。これらの街道を利用し、手紙や公文書、荷物などを運搬した職を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 馬子
 2. 駕籠掻き
 3. 飛脚
 4. 車夫
- 問14 17世紀後半、イギリスで起こった名誉革命の際に制定された文書はどれか。この文書は、国王は議会の同意なしに法律の効力を停止したり、税を徴収したりできないことを定めている。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 独立宣言
 2. 権利の章典
 3. マグナ・カルタ (大憲章)
 4. 人権宣言

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。	奈良時代は、平城京を中心に律令国家の仕組みが整えられた時期です。この時代には、天皇の命によって各国の地理や産物、伝承などを記録した報告書である「風土記」が編纂されました。他の選択肢について、邪馬台国や稲作は弥生時代、承久の乱や新しい仏教の普及は鎌倉時代、武家諸法度や浮世絵は江戸時代の事柄であり、時代が異なります。
問2	答え 1 貨幣経済の浸透に対応するため、株仲間の結成を奨励して運上や冥加などの税を徴収した。	田沼意次は、それまでの「米」を基盤とした経済から「貨幣」を中心とした経済への変化を積極的に政治に取り入れました。商人の組織である「株仲間」を広く公認し、独占的な営業権を与える見返りとして税（運上・冥加）を課し、幕府の現金収入を増やそうとしたのが特徴です。他の選択肢にある帰村の強制や棄捐令は、その後の寛政の改革や天保の改革で行われた政策です。
問3	答え 2 スペイン	当時のオランダ（ネーデルラント）は、ハブスブルク家のスペインによる支配を受けていました。宗教改革の影響でプロテスタントの信仰が広がっていたオランダに対し、カトリックの守護者を自認するスペインが信仰の強制と重税を課したことが、独立運動の大きな要因となりました。この独立を経て、オランダは17世紀に世界貿易の覇権を握り、日本の江戸幕府とも密接な関係を築くことになります。
問4	答え 1 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → 天保の改革 → ええじゃないか	寛政の改革は18世紀末（1787年～）に松平定信によって行われました。その後、19世紀に入り1837年に大塩平八郎の乱が起き、その混乱や飢饉への対応として1841年から水野忠邦による天保の改革が始まりました。「ええじゃないか」は幕末の混乱期である1867年頃に民衆の間で流行した現象であり、これらが最も適切な時系列となります。
問5	答え 3 本居宣長が日本の古典を研究して『古事記伝』を著し、国学を大成させた。	18世紀から19世紀半ばにかけての江戸時代中期から後期には、化政文化に代表されるような町人の文化が成熟し、同時に実証的な学問も発展しました。本居宣長はこの時期に活躍し、文献学的手法で『古事記』を読み解くことで、外来思想の影響を受ける前の日本独自の精神（国学）を体系化しました。その他の選択肢は、江戸時代初期、明治時代、平安時代の出来事であるため、この時期の動向としては不適切です。
問6	答え 3 朝鮮通信使	豊臣秀吉による朝鮮侵略によって日朝関係は悪化していましたが、江戸幕府を開いた徳川家康が対馬藩の宗氏を仲介させて国交を回復しました。その後、将軍の代替わりなどを祝うために計12回、朝鮮通信使が来日し、江戸までの道中で日本の儒学者らと文化交流も行われました。
問7	答え 4 大名の経済力や軍力を抑えて幕府の支配体制を長期的に安定させるため	江戸幕府は、戦国時代のような下克上や大名同士の争いが再び起こらないよう、大名の力を弱める必要がありました。そのため、経済的・軍事的な負担や制限を課すことで大名の権限を削ぎ、幕府による全国支配を安定させました。
問8	答え 2 多くの戦死者や処刑者が出たことにより百姓が著しく不足し、耕作地が荒廃した。	島原・天草一揆は、領主による過酷な年貢の取り立てやキリスト教への弾圧に対して、農民らが武器を持って立ち上がった大規模な反乱です。幕府軍によって鎮圧される過程で、一揆勢のほとんどが殺害または処刑されました。その結果、この地域では農業の担い手である百姓が決定的に不足し、田畑が荒れ果てて社会が維持できないほどの凄惨な状況に陥りました。当時の大名の間で交わされた手紙からも、その深刻な復興の遅れを読み取ることができます。
問9	答え 3 アンシャン・レージュム（旧制度）	フランス革命前のフランスでは、第一身分の聖職者と第二身分の貴族が特権階級として広大な土地を持ち免税の特権を享受していました。一方で、人口の約9割を占める第三身分の平民は、政治への参加権がないまま重い税や労役を負担させられていました。この不平等な社会の仕組みは、フランス語で「古い体制」を意味する言葉で呼ばれ、国民の不満が爆発し革命が起こる大きな背景となりました。
問10	答え 3 天下の台所	江戸時代の大坂は、西日本や北陸など全国各地から物資が集まる経済・物流の拠点でした。特に諸藩が年貢米や特産物を販売するために置いた「蔵屋敷」が立ち並んでいたことから、全国の食糧や物資を供給する場所として「天下の台所」と呼ばれました。
問11	答え 4 将軍のおひざもと	江戸は徳川将軍家が直接統治する城下町であり、幕府の所在地として全国を動かす中心地であったことから「将軍のおひざもと」と呼ばれました。これに対し、全国の物資が集まる経済・流通の中心地であった大坂は「天下の台所」と呼ばれ、それぞれ役割が異なっていました。
問12	答え 4 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。	享保の改革では、幕府の財源である年貢を増やすために耕作地の拡大が不可欠でした。そこで、民間の資金や技術を活用する「町人請負新田」などを認めることで、大規模な新田開発を推進しました。また、年貢率を固定する「定免法」の採用や、米の価格を安定させるための市場調整など、米を中心とした経済体制の強化に努めたことが吉宗の通称の由来となっています。他の選択肢は田沼意次や水野忠邦による政策の内容です。
問13	答え 3 飛脚	江戸幕府が整備した五街道（東海道・中山道など）において、信書や荷物を運ぶ重要な役割を担ったのが飛脚です。幕府の公文書や運ぶ継飛脚、諸藩が利用した大名飛脚、庶民が利用した町飛脚などの種類があり、江戸と地方を結ぶ通信・輸送手段として機能しました。
問14	答え 2 権利の章典	名誉革命の際、新国王ウィリアム3世とメアリ2世が議会の権利を承認した「権利の宣言」を法典化したものが権利の章典です。これによって、国王であっても法に従わなければならないという立憲君主制の基礎が築かれ、近代民主政治の出発点となりました。

- 問1 江戸幕府が琉球使節を江戸へ参府させた目的や背景として、当時の外交や政治の仕組みから考えて最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 薩摩藩の支配から琉球王国を独立させ、幕府の直轄領として管理するための事務的な手続きを行うため。 | 2. キリスト教の布教を許可する代わりに、琉球を通じてヨーロッパの最新兵器を独占的に輸入しようとしたため。 | 3. 琉球王国を仲介役として、当時は国交が断絶していた清（中国）の皇帝に親書を届けるルートを確保するため。 | 4. 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。 |
|--|---|---|--|
- 問2 江戸時代の流通において、商業の中心地である大阪と巨大な消費地である江戸を結ぶ航路は非常に重要でした。この航路で、醤油や油、木綿、紙などの日用品を運ぶために用いられ、船の側面に竹を編んだ格子状の垣（柵）を設けていたことが名称の由来となっている船を選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 北前船 | 2. 遣明船 | 3. 菱垣廻船 | 4. 樽廻船 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問3 19世紀における日本の総石高は約3021万石とされています。そのうち、江戸幕府が「直轄地」として直接支配していた領地（幕府領）の石高が占める割合として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 全国の総石高の約4分の3（約2250万石） | 2. 全国の総石高の半分以上（約1800万石） | 3. 全国の総石高の約4分の1（約723万石） | 4. 全国の総石高の約1パーセント（約33万石） |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
- 問4 江戸時代に伊能忠敬が作成した日本地図（大日本沿海輿地全図）の作成方法とその特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 全国の諸藩が幕府に提出した古い古地図を収集・整理し、それらをパズルのように繋ぎ合わせることで完成させた。 | 2. オランダから輸入された最新の世界地図を日本語に翻訳し、日本の位置関係を修正して作成された。 | 3. 幕府の軍艦を用いて海上から海岸線の形状を測定し、主に外国船の来航に備えるための防衛用地図として作成された。 | 4. 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。 |
|---|--|--|--|
- 問5 元禄文化が栄えた時期の、社会・経済の状況や人物の活動を説明した文として正しいものはどれか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 井伊弼弼が日米修好通商条約を結び、横浜などの港を開放したことで、海外の文化が急速に流入した。 | 2. 杉田玄白らがオランダ語の解剖書を翻訳して『解体新書』を出版し、医学や科学の発展に貢献した。 | 3. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、風景画という新しいジャンルを確立して民衆の間に広めた。 | 4. 松尾芭蕉が各地を旅して『おくのほそ道』などの俳諧を大成させ、内面的な深みのある作品を残した。 |
|---|--|---|---|
- 問6 松平定信が行った寛政の改革において、都市へ流入した農民を村に帰そうとした「旧里帰農令」が出された主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 都市での商業を活性化させるために、不要な人員を削減して賃金の高騰を抑えるため | 2. 外国船の来航による軍事的脅威に農村に軍事的な防衛拠点を築かせるため | 3. 新しい特産物を栽培させることで、商人と連携した専売制度を全国に広めるため | 4. 荒廃した農村に労働力を戻して農業生産を回復させ、幕府の年貢収入を安定させるため |
|---|--------------------------------------|---|--|
- 問7 江戸時代後期の文化において、街道の風景を鮮やかな色彩と大胆な構図で描き、「東海道五十三次」などの代表作を残した浮世絵師は誰か。その人物名として正しいものを、他の著名な浮世絵師と比較して選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 歌川広重 | 2. 菱川師宣 | 3. 喜多川歌麿 | 4. 葛飾北斎 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問8 江戸時代の三大改革が行われた共通の背景と、それぞれの改革が目指した主な目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。 | 2. 外国船の来航による軍事的脅威に対抗するため、西洋の軍事技術の導入と開国を目指した。 | 3. 商業資本の成長を抑えるため、全ての特権的な商人を追放し、自給自足の経済へ戻すことを目指した。 | 4. 天皇の権威が高まったことを受け、朝廷と協力して政治を行う公武合体の体制を築くことを目指した。 |
|--|--|---|---|
- 問9 徳川吉宗は、裁判の公平性を高めるとともに迅速に処理を行うため、判例を整理して裁判の基準となる法典を制定しました。この法典の名称を次の中から選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 禁中並公家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|----------|-------------|-----------|----------|
- 問10 江戸時代は、それ以前の戦国時代などと比較して「大きな戦乱のない世」と評されます。約260年という長期間にわたって平和が保たれた背景として、幕府が行った統治の仕組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 武力による領土拡大を奨励し、諸大名を競わせることで勢力の均衡を保った | 2. 実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮を認め、社会の活性化を図った | 3. 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した | 4. 民衆が自ら政治を行う権利を全面的に認め、合議制による全国統治を展開した |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
- 問11 17世紀前半の江戸幕府において、キリスト教の広まりを防ぎながら海外との貿易を継続・管理するために、長崎の港内に建設された人工島の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 出島 | 2. 博多 | 3. 堺 | 4. 平戸 |
|-------|-------|------|-------|
- 問12 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。 | 2. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 | 3. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 | 4. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 |
|--|---|---|---|
- 問13 江戸幕府が定めた「武士が守るべき法令」の中で規定された、大名が一年おきに江戸と領地を往復する制度（参勤交代）について、幕府がこの制度を義務付けた主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------|
| 1. 大名を定期的に江戸へ集め、幕府の重要な政策について直接議論を行うため | 2. 五街道や宿場を整備することで、全国的な商業と物資の流通を促進させるため | 3. 多額の費用を負担させて大名の経済力をそぎ、幕府に対する反乱の力を奪うため | 4. 江戸の進んだ文化を地方へ広め、全国の水準を均一にするため |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。	幕府は、琉球使節に対してあえて中国風の独自の服装を維持させたまま江戸まで行進させました。これにより、将軍が異国の王からも敬われる存在であることを民衆や諸大名に見せつけ、幕府の権力を正当化・強化する演出を行いました。
問2	答え 3 菱垣廻船	江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、各地の物資が集まる商業の中心地でした。そこから幕府のある江戸へ物資を運ぶために「南海路」と呼ばれる航路が整備されました。菱垣廻船は、船の側面に菱形の模様に編んだ竹垣があることからその名が付き、主に日用品を大量に輸送していました。一方、樽廻船は酒を専門に運ぶ船として、菱垣廻船よりも後に登場し、速度が速かったため後に主流となりました。
問3	答え 3 全国の総石高の約4分の1（約723万石）	江戸幕府が直接支配した土地は「幕府領（または天領）」と呼ばれ、その石高は全国の約24%にあたる約700万石強でした。これに対し、全国の約75%（約2250万石）は大名が支配する領地（藩など）であり、寺社領や天皇・公家領の割合は合計しても2%に満たない極めてわずかなものでした。幕府はこの約4分の1の石高に加え、主要な都市や鉱山を直轄地として押さえることで、強力な権力を維持しました。
問4	答え 4 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。	伊能忠敬は「導線法（歩いた距離と方位を記録する方法）」と、星の高度から緯度を算出する「天体観測」を併用する手法を用いました。実際に自分の足で全国を歩き通すという膨大な時間と労力をかけた結果、それまでの概念的な地図とは一線を画す、日本列島の正確な輪郭を捉えた地図が完成しました。この地図は後に訪れたイギリスなどの欧米諸国も、その正確さに驚いたと伝えられています。
問5	答え 4 松尾芭蕉が各地を旅して『おくのほそ道』などの俳諧を大成させ、内面的な深みのある作品を残した。	松尾芭蕉は元禄文化を代表する人物の一人で、従来の俳諧を芸術性の高い文学へと高めました。他の選択肢は、江戸時代後期の化政文化（葛飾北斎）、宝暦・天明期（杉田玄白）、あるいは幕末（井伊直弼）の出来事であり、時期や文化圏が異なります。
問6	答え 4 荒廃した農村に労働力を戻して農業生産を回復させ、幕府の年貢収入を安定させるため	天明の飢饉によって多くの農民が生活に困り、農村を離れて江戸などの都市へ流入したことで、農村は荒廃し幕府の年貢収入が激減しました。定信はこの状況を打開するため、農民に資金を与えて帰村を促す「旧里帰農令」を出し、農業人口を確保することで幕府の経済基盤である年貢収入の回復を狙いました。これは、商業重視だった田沼意次の時代に生じた社会の歪みを正そうとする動きでもありました。
問7	答え 1 歌川広重	江戸時代後期の化政文化期には、庶民の旅への関心の高まりを背景に、風景画という新しいジャンルの浮世絵が確立されました。歌川広重は、宿場町の風景を描いた「東海道五十三次」で一躍人気となり、叙情的な風景描写で知られています。葛飾北斎も風景画で有名ですが、代表作は富士山を描いた「富嶽三十六景」です。菱川師宣は江戸時代初期に浮世絵の基礎を築いた人物、喜多川歌麿は江戸時代後期に美人画で活躍した人物です。
問8	答え 1 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。	江戸時代の三大改革（享保・寛政・天保）は、いずれも貨幣経済の浸透による武士の困窮や、冷害などの災害による農村の荒廃、それに伴う幕府財政の悪化という共通の課題に直面していました。そのため、支出の抑制（質素儉約）や収入の安定（年貢の確保・増収）を共通の目的として、幕府の権威を再構築しようとしたものです。
問9	答え 3 公事方御定書	それまでの裁判は担当者の裁量に任される部分が大きかったのですが、吉宗は「公事方御定書」を定めることで、過去の判例に基づいた統一的な司法判断ができる仕組みを整えました。
問10	答え 3 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した	徳川家康が江戸幕府を開いて以降、幕府は「武家諸法度」によって大名を統制し、厳しい身分制度を敷くことで社会を安定させました。このように幕府と各藩が土地と民衆を二重に支配する「幕藩体制」が構築されたことで、中世のような武力による勢力争いが鎮まり、長期間にわたる平和な社会が実現しました。
問11	答え 1 出島	江戸幕府は、1634年から長崎に「出島」という扇形の人工島を築きました。当初はポルトガル人を収容する目的で作られましたが、ポルトガル人の来航が禁止された後は、平戸にあったオランダ商館がこの島に移されました。これにより、幕府は長崎を唯一の窓口としてオランダや中国との貿易を統制しました。
問12	答え 4 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問13	答え 3 多額の費用を負担させて大名の経済力をそぎ、幕府に対する反乱の力を奪うため	三代将軍徳川家光によって確立された参勤交代は、大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、軍事行動に必要な資金を蓄えさせないようにする狙いがありました。また、大名の妻子を人質として江戸に住まわせることで、幕府への忠誠を強制する政治的な仕組みでもありました。

問1 松平定信が行った「寛政の改革」の内容として、当時の社会状況に基づき、思想や学問の統制を目的として実施された政策はどれですか。

(2024年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 聖堂学問所での朱子学以外の講義を禁じた | 2. 参勤交代の負担を減らす代わりに米を献上させた | 3. 株仲間を解散させ、物価の下落を狙った | 4. 公事方御定書を制定し、裁判の基準を作った |
|------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|

問2 1603年に徳川家康が江戸幕府を開いたのち、幕府は大名を統制するために様々な法令や制度を整えました。二代將軍徳川秀忠の代に制定され、城の無断修理の禁止や、婚姻の許可制などを定めた法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。

(2016年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-------------|
| 1. 寺院諸法度 | 2. 武家諸法度 | 3. 慶安の御触書 | 4. 禁中並公家諸法度 |
|----------|----------|-----------|-------------|

問3 5代將軍徳川綱吉の時代に改訂された「武家諸法度」では、それまで最優先とされていた「文武弓馬の道（武芸の研鑽）」に代わり、「文武忠孝を励まし、正しく風俗を正すこと」が第一条に記されました。このような法令の変化の背景にある、綱吉が政治の規範とした学問は何ですか。

(2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|------------|
| 1. 蘭学 | 2. 神道 | 3. 国学 | 4. 儒学（朱子学） |
|-------|-------|-------|------------|

問4 17世紀半ば、江戸幕府はキリスト教の禁止と貿易の統制を強める「鎖国」の体制を完成させました。この過程において、1641年にそれまで平戸にあったオランダ商館を、長崎のどこへ移転させましたか。その名称として正しいものを選びなさい。

(2018年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|------|
| 1. 出島 | 2. 対馬 | 3. 種子島 | 4. 堺 |
|-------|-------|--------|------|

問5 17世紀末から18世紀初めにかけて、上方を中心として町人の経済力が向上したことを背景に発展した元禄文化について、この時代を代表する人物とその作品、および経済の中心地として発展した都市の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2022年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 十返舎一九による『東海道中膝栗毛』と、天下の台所と呼ばれた大阪 | 2. 十返舎一九による『東海道中膝栗毛』と、將軍のお膝元と呼ばれた江戸 | 3. 松尾芭蕉による『おくのほそ道』と、將軍のお膝元と呼ばれた江戸 | 4. 松尾芭蕉による『おくのほそ道』と、天下の台所と呼ばれた大阪 |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

問6 欧米の近代化の過程で起きた次の4つの出来事（クロムウェルによるピューリタン革命、ワシントンによるアメリカ独立戦争、ナポレオンの皇帝就任、レーニンによるロシア革命）を、年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。

(2017年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アメリカ独立戦争 →ピューリタン革命 → ナポレオンの皇帝就任 → ロシア革命 | 2. ピューリタン革命 → アメリカ独立戦争 → ナポレオンの皇帝就任 → ロシア革命 | 3. ピューリタン革命 → ナポレオンの皇帝就任 → アメリカ独立戦争 → ロシア革命 | 4. ナポレオンの皇帝就任 →ピューリタン革命 → アメリカ独立戦争 → ロシア革命 |
|--|---|---|--|

問7 江戸時代の日本の衛生状態に関する記述として、当時の資源活用の仕組みを踏まえて説明したものとして正しいものはどれですか。

(2022年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 化学肥料が主流であったため、排泄物は資源としての価値を失い、主に川や海へ廃棄されていた。 | 2. 都市の人口増加に伴い排泄物の処理が追いつかず、衛生環境の悪化が深刻な社会問題となっていた。 | 3. 西洋諸国と同様に、地下に大規模な下水道網を完備することで都市の清潔さを維持していた。 | 4. 都市部で発生した排泄物を農村が買い取り、肥料として活用する循環型の社会システムが成立していた。 |
|---|--|---|--|

問8 1637年、九州の島原半島や天草諸島において、領主による過酷な年貢の取り立てやキリスト教への厳しい弾圧に対して、農民やキリスト教の信者らが起こした大規模な一揆を何というか。

(2017年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 加賀の一向一揆 | 2. 島原・天草一揆 | 3. 山城の国一揆 | 4. 正長の徳政一揆 |
|------------|------------|-----------|------------|

問9 江戸幕府が進めた外交統制の過程において、1641年にオランダ商館が長崎の平戸から移された場所の名称と、その目的としてふさわしい説明を選びなさい。

(2020年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 移転先：出島 目的：キリスト教の布教を防ぎ、幕府が貿易を厳格に管理するため | 2. 移転先：堺 目的：自由貿易を奨励し、西国大名に貿易の利益を分配するため | 3. 移転先：出島 目的：キリスト教の布教を認める代わりに、ヨーロッパの最新軍事技術を導入するため | 4. 移転先：平戸 目的：朱印状を持つ商人とオランダ人の交流を深め、輸出を増やすため |
|--|--|---|--|

問10 19世紀前半の江戸幕府による対外政策の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2025年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 異国船打払令は、ロシアの南下政策に対抗して北海道の警備を強化するために出された。 | 2. 異国船打払令は、鎖国体制を維持するために外国船を無差別に攻撃するよう命じたものである。 | 3. 異国船打払令が出された直後に、生麦事件が起きたことで幕府は開国を決定した。 | 4. 異国船打払令は、日米和親条約が結ばれたことをきっかけとして出された法令である。 |
|---|--|--|--|

問11 江戸時代後期、財政難に陥った諸藩は独自の藩政改革に取り組みました。この改革の中で、領内の特産品である砂糖や「ろう」、陶磁器などの生産を奨励し、それを藩が独占的に買い上げて販売することで利益を上げる仕組みを何といいますか。

(2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|
| 1. 株仲間 | 2. 公事方御定書 | 3. 専売制 | 4. 相对済し令 |
|--------|-----------|--------|----------|

問12 日本の歴史における文化的事項について述べた次の文のうち、近松門左衛門が活躍した時期と同じ文化区分に属する説明として正しいものはどれですか。

(2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 菱川師宣が、浮世絵の先駆けとなる『見返り美人図』を描いた。 | 2. 雪舟が、墨の濃淡で自然を表現する水墨画を大成させた。 | 3. 紀貫之らによって、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編纂された。 | 4. 親鸞が、念仏を唱えることで救われると説く浄土真宗（一向宗）を広めた。 |
|----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問13 18世紀後半の江戸時代において、杉田玄白や前野良沢らがオランダの医学書を翻訳して出版し、日本の医学の発展に大きく貢献した著書として正しいものはどれですか。

(2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 西洋事情 | 2. 解体新書 | 3. 古事記伝 | 4. 奥の細道 |
|---------|---------|---------|---------|

問14 江戸時代の教育制度と、それが当時の社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2021年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 幕府が庶民の教育を禁止したため、教育施設は武士階級のみに限定されていた。 | 2. 寺子屋が全国に普及したことで、庶民の間でも識字率が高まり、出版文化の発展にも寄与した。 | 3. 寺子屋は武士の道德教育を目的としていたため、実用的な技術が教えられることはなかった。 | 4. 全国一律の公立学校制度が確立されており、どの地域でも同じ教科書が使われていた。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 聖堂学問所での朱子学以外の講義を禁じた	寛政の改革では、武士の思想を統一して規律を正すために、幕府の正学である朱子学以外の学問を聖堂学問所で教えることを禁じました（寛政異学の禁）。株仲間の解散は水野忠邦の天保の改革、公事方御定書や米の献上（上げ米の制）は徳川吉宗の享保の改革の政策です。
問2	答え 2 武家諸法度	江戸幕府が全国の大名を統制し、軍事力を抑え込むために制定した法律です。文武の奨励といった道德的な規定だけでなく、城の修繕を届け出制にしたり、無断での婚姻を禁止したりするなど、大名の行動を厳しく制限しました。のちに三代将軍徳川家光によって、参勤交代の規定が追加されるなど、時代に合わせて改訂が行われました。
問3	答え 4 儒学（朱子学）	徳川綱吉は、君臣の上下関係や礼儀を重んじる儒学（朱子学）を熱心に学び、自ら家臣に講義を行うほどでした。この学問の考え方を政治に取り入れたことで、武士に対して単なる武力の行使ではなく、主君への忠義や親への孝行といった倫理観に基づいた統治（文治政治）を求めるようになりました。
問4	答え 1 出島	幕府は1639年にポルトガル船の来航を禁止した後、1641年に平戸のオランダ商館を長崎の出島に移しました。これにより、ヨーロッパ諸国の中で貿易を許されたのはオランダのみとなり、出島を通じた厳格な管理体制が確立されました。出島はもともとポルトガル人を収容するために作られた人工の島でした。
問5	答え 4 松尾芭蕉による『おくのほそ道』と、天下の台所と呼ばれた大阪	江戸時代中期の元禄文化では、松尾芭蕉が『おくのほそ道』を著すなど、俳諧や浮世草子といった新しい文芸が栄えました。この文化の基盤となったのは、全国から物資が集まり「天下の台所」と呼ばれた経済都市の大阪や、伝統ある京都などの上方です。十返舎一九の『東海道中膝栗毛』は、19世紀前半に江戸を中心に栄えた化政文化の代表作であるため、時代背景が異なります。
問6	答え 2 ピューリタン革命 → アメリカ独立戦争 → ナポレオンの皇帝就任 → ロシア革命	イギリスでクロムウェルが指導したピューリタン革命は17世紀（1642年～）、ワシントンが総司令官を務めたアメリカ独立戦争は18世紀後半（1775年～）、フランスでナポレオンが皇帝に即位したのは19世紀初頭（1804年）、そしてレーニンが指導したロシア革命は20世紀（1917年）の出来事です。欧米の近代化は、市民革命による権利の確立から、ナショナリズムの台頭、社会主義の出現へと展開していきました。
問7	答え 4 都市部で発生した排泄物を農村が買い取り、肥料として活用する循環型の社会システムが成立していた。	江戸時代から明治初期の日本では、排泄物を単なる廃棄物ではなく、農作物の収穫量を増やすための貴重な肥料として再利用していました。都市から出た「下肥」を農村が運び出し、代わりに野菜などを都市に供給するという、現代でいう「循環型社会」が高度に成立していたことが、当時の日本の衛生環境が良好であった大きな要因です。
問8	答え 2 島原・天草一揆	この一揆は江戸幕府を揺るがす最大規模の内乱となりました。この後、幕府はキリスト教の禁止を徹底するため、ポルトガル船の来航禁止や鎖国の完成へと政策を強めていくことになりました。選択肢にある「加賀の一方向一揆」は室町時代に浄土真宗の門徒が起こしたものです。
問9	答え 1 移転先：出島 目的：キリスト教の布教を防ぎ、幕府が貿易を厳格に管理するため	幕府は1639年にポルトガル人を追放した後、1641年にそれまで平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移しました。これにより、ヨーロッパの国ではオランダのみが貿易を許されることになり、キリスト教の布教を遮断しながら、貿易による利益と海外情報を幕府が独占する体制が整いました。
問10	答え 2 異国船打払令は、鎖国体制を維持するために外国船を無差別に攻撃するよう命じたものである。	1820年代、日本の沿岸には捕鯨などの目的で外国船が頻繁に現れるようになっていました。幕府はこれらを排除して鎖国体制を厳守するため、1825年に理由を問わず砲撃を命じる「異国船打払令（無二念打払令）」を出しました。日米和親条約による開国や、生麦事件などの尊王攘夷運動に関連する出来事は、これよりも後の時代のことです。
問11	答え 3 専売制	江戸時代中期以降、多くの藩が参勤交代の費用や災害復旧などにより深刻な財政難に陥りました。これを立て直すための藩政改革として、藩が特定の特産品を独占的に流通・販売させる仕組みが導入されました。これにより、商人に依存せず藩が直接利益を得ることで、財政再建を目指しました。
問12	答え 1 菱川師宣が、浮世絵の先駆けとなる『見返り美人図』を描いた。	近松門左衛門が活躍したのは江戸時代中期の元禄文化期です。菱川師宣は同じ元禄文化期に活躍し、それまで本の挿絵だった浮世絵を独立した鑑賞用の一枚絵として確立させました。雪舟は室町文化、古今和歌集は平安時代の国風文化、浄土真宗は鎌倉文化（鎌倉新仏教）に該当するため、時代背景が異なります。
問13	答え 2 解体新書	杉田玄白らは、オランダの医学書『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、1774年に『解体新書』を出版しました。それまでの東洋医学の知識だけでなく、西洋の解剖学に基づいた正確な医学知識を導入したことは、のちの蘭学（オランダを通じて伝わった西洋の学問）が大きく発展するきっかけとなりました。
問14	答え 2 寺子屋が全国に普及したことで、庶民の間でも識字率が高まり、出版文化の発展にも寄与した。	寺子屋を通じた庶民教育の普及は、文字が読める層を大幅に増やしました。その結果、瓦版や草双紙（小説）などの出版物が広く流通し、日本の豊かな町人文化や独自の文化圏が形成される背景となりました。当時の教育は地域や施設ごとに柔軟に行われており、現代のような国家による一律の公教育とは異なります。

- 問1 江戸時代、幕府や藩が大規模な土木工事を行い、海面の埋め立てや湖沼の干拓を通じて「新田開発」を積極的に進めた最大の目的として、最も適切なものはどれか。 （2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. 鎖国体制を維持するために、輸用の作物を栽培する土地を確保すること

2. 農民の負担を軽減し、農村における貧富の差をなくすこと

3. 武士を農村に住まわせることで、兵農分離の制度を廃止すること

4. 耕作面積を広げて年貢の増収を図り、幕府や藩の財政を豊かにすること
- 問2 江戸時代初期、徳川家康は海外貿易を統制・奨励するためにある仕組みを整えました。大名や豪商に対して、将軍が海外渡航を許可する「朱印状」という公文書を与え、東南アジア諸国との間で行われた貿易の名称を答えなさい。 （2024年 富山県公立入試 類似）

1. 南蛮貿易

2. 朱印船貿易

3. 勘合貿易

4. 日宋貿易
- 問3 19世紀前半に大阪で起きた大塩平八郎の乱について、この出来事が幕府に大きな衝撃を与えた理由や背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 山形県公立入試 類似）

1. 外国船を退ける「異国船打払令」に反対する知識人たちが、横浜の開港を求めて大規模なデモを起こしたから。

2. キリスト教の信仰を認めない幕府の姿勢に対し、九州の農民たちが武装して領主の城を攻撃し、長期間占拠したから。

3. 幕府の元役人であった陽明学者が、飢饉に苦しむ人々を救うために、幕府のおひざ元である大阪で武装蜂起したから。

4. 田沼意次の政治によって経済が混乱したことに憤った大名たちが、将軍の世継ぎ問題を理由に江戸城を包囲したから。
- 問4 19世紀初め、ロシアの南下を警戒した江戸幕府の命令により樺太（サハリン）を調査し、そこが大陸と地続きではない「島」であることを確認した探検家は誰ですか。 （2016年 三重県公立入試 類似）

1. 間宮林蔵

2. 近藤重蔵

3. 高野長英

4. 伊能忠敬
- 問5 江戸時代中期の5代将軍徳川綱吉の時代を中心に、京都や大阪といった上方で、経済力を蓄えた町人たちが担い手となって栄えた文化を何といいますか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 天平文化

2. 元禄文化

3. 国風文化

4. 化政文化
- 問6 江戸時代の対外政策において、幕府の統制下で特定の窓口（四つの口）を通じた交流が行われていた状況について説明した文として、適切なものを選んでください。 （2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 松前藩を窓口として、清（中国）との長崎貿易が管理された。

2. 対馬藩を窓口として、朝鮮との外交や貿易が行われた。

3. 薩摩藩を窓口として、オランダとの貿易が独占的に行われた。

4. 長崎を窓口として、蝦夷地のアイヌの人々との交易が管理された。
- 問7 葛飾北斎が「富嶽三十六景」に代表される風景画を多く制作した背景として、当時の社会状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 鎖国が強化されたことで、海外の景色を知ることができない庶民のために日本の景色が描かれた。

2. 幕府が倭約令を出したため、高価な絵具を使用しない簡素な風景画のみが許可された。

3. 街道の整備や経済の発展により、庶民の間で寺社参詣や名所巡りなどの旅が流行した。

4. 参勤交代によって江戸に集まった大名たちが、故郷の景色を思い出すために注文した。
- 問8 17世紀初めに徳川家康が奨励した朱印船貿易において、当時の日本から最も多く輸出された物資と、中国や東南アジアから日本へもたらされた代表的な輸入品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 日本から木綿を輸出し、海外から金を輸入した

2. 日本から金を輸出し、海外から木綿を輸入した

3. 日本から生糸を輸出し、海外から銀を輸入した

4. 日本から銀を輸出し、海外から生糸を輸入した
- 問9 江戸時代の農村において、名主や肝煎とも呼ばれ、村の行政や年貢のとりまとめを担った村役人の役職名として正しいものを、次のうちから選りなさい。 （2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 代官

2. 奉行

3. 地主

4. 庄屋
- 問10 江戸時代中期の18世紀後半、天明の飢饉などによる社会の混乱を立て直すために松平定信が行った「寛政の改革」の内容として、正しいものはどれですか。 （2020年 山形県公立入試 類似）

1. 後醍醐天皇の政治を理想とし、公家と武士が共同で政治を行う独自の法制度を全国に広めた。

2. 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。

3. 北条泰時にならって裁判基準を簡略化し、江戸の町人に倭約を強いる代わりに重い税を課した。

4. 株仲間を積極的に奨励することで商業を活性化させ、その運上金によって幕府の財政再建を図った。
- 問11 江戸幕府の対外関係において、九州南部の薩摩藩が担った窓口としての役割について、その仕組みを説明したものとして正しいものはどれですか。 （2024年 鳥取県公立入試 類似）

1. 琉球王国を支配下に置き、琉球が行っていた中国との朝貢貿易を通じて利益を得た。

2. 堺や博多の豪商と協力し、幕府の許可を得た朱印船を東南アジアへ派遣して中継貿易を行った。

3. 長崎の出島を管理下に置き、オランダ船から輸入されるキリスト教関連の情報を監視した。

4. 対馬の宗氏を指揮し、朝鮮から派遣される通信使の接待や外交儀礼をすべて代行した。
- 問12 18世紀後半に老中として実権を握った田沼意次が行った経済政策の背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 武士の生活を救うために「棄捐令」を出し、商人から借りていた借金を帳消しにすることで経済の混乱を収めようとした。

2. 商業の力を利用するため、商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、その特権を認める代わりに税を徴収しようとした。

3. 幕府の財政を立て直すため、農業を重視する従来の姿勢を強め、農民に倭約を徹底させて年貢を増やすことを目指した。

4. 外国からの影響を排除するため、長崎での貿易を厳しく制限し、金や銀の流出を完全に防ぐことを最優先とした。
- 問13 江戸時代末期、薩摩藩などの有力な藩では、特産物の専売制や商人からの借金整理によって蓄えた多額の資金を、どのような事業に活用しましたか。その後の歴史の流れに関連する内容として最も適切なものを選んでください。 （2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 反射炉を建設して大砲を製造するなど、軍備の近代化や産業の育成を進めた。

2. 公事方御定書に代わる独自の法律を作り、領内での裁判制度を完全に独立させた。

3. 海外との直接貿易を行うために、長崎の出島に代わる新しい港を独断で建設した。

4. 全国の街道を整備し、幕府に代わって伝馬制や宿場町の管理を主導した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 耕作面積を広げて年貢の増収を図り、幕府や藩の財政を豊かにすること	江戸時代の幕府や藩の経済基盤は、農民から徴収する「年貢」に依存していた。武士の生活や政治運営を維持するためには安定した収入が必要であり、新田開発によって耕地面積を拡大し、収穫量を増やすことで財政の強化を目指した。江戸時代中期以降には、町人の資金を利用した町人請負新田なども活発に行われるようになった。
問2	答え 2 朱印船貿易	徳川家康は、幕府が発行した渡航許可証である「朱印状」を持つ船にのみ海外渡航を認め、東南アジア各地との貿易を盛んに行わせました。これにより、貿易の利益を幕府の統制下に置くとともに、大名や豪商の経済活動を把握しました。この時期、東南アジア各地には日本人が居住する日本町も形成されました。
問3	答え 3 幕府の元役人であった陽明学者が、飢饉に苦しむ人々を救うために、幕府のおひざ元である大阪で武装蜂起したから。	天保の飢饉が広がる中、幕府の元役人（与力）であった大塩平八郎が、役人の不正や困窮する民衆を見捨てた幕府への怒りから蜂起しました。幕政を支える立場にあった者が、幕府の直轄地である重要拠点の大阪で反乱を起こしたことは、幕府の支配体制の揺らぎを象徴する出来事となり、全国の農民一揆などに大きな影響を与えました。
問4	答え 1 間宮林蔵	江戸幕府はロシアの南下に備え、北方の領土画定や警備を強化しました。間宮林蔵は1808年から1809年にかけて樺太を探索し、大陸との間に海峡（間宮海峡）があることを発見して、樺太が島であることを明らかにしました。この調査で得られた測量データは、伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」の完成にも大きく貢献しています。
問5	答え 2 元禄文化	5代将軍徳川綱吉の時期は、新田開発の進展や貨幣経済の広がりにより、都市の町人が経済的な実力をつけた時期でした。この力を背景に、芸術や文学が花開きました。19世紀初めの江戸を中心とした化政文化と混同しやすいため、時期と場所を正確に捉える必要があります。
問6	答え 2 対馬藩を窓口として、朝鮮との外交や貿易が行われた。	江戸時代の「四つの口」は、長崎（オランダ・清）、対馬（朝鮮）、薩摩（琉球）、松前（蝦夷地）という役割分担がなされていました。薩摩藩は琉球王国を支配下に置いて交流し、松前藩は蝦夷地のアイヌの人々と交易を行い、長崎は幕府の直轄地としてオランダや清との貿易を厳格に管理していました。
問7	答え 3 街道の整備や経済の発展により、庶民の間で寺社参詣や名所巡りなどの旅が流行した。	江戸時代後期には交通網の整備や農業・商業の発展により、庶民の生活にゆとりが生まれ、伊勢参りなどの旅が盛んになりました。これに伴い、各地の名所を描いた浮世絵は、現在でいうガイドブックや絵葉書のような役割を果たして人気を集めました。北斎の風景画は、こうした人々の移動や名所への関心の高まりを背景に普及しました。
問8	答え 4 日本から銀を輸出し、海外から生糸を輸入した	江戸時代初期、石見銀山などの開発により日本の銀産出量は世界有数の規模に達していました。徳川家康はこの銀を対価として、朱印船貿易を通じて中国産の高品質な生糸（シルクの原料）を大量に輸入し、国内の需要に応えました。金や木綿は、当時の主要な貿易品目としての正解には当てはまりません。
問9	答え 4 庄屋	江戸時代の村政は「村方三役」と呼ばれる有力な百姓たちによって運営されていました。その責任者であるこの役職は、地域によって呼び名が異なり、関東では名主、東北や北陸では肝煎、近畿や西国では庄屋と呼ばれました。主な職務は、領主の命令を村人に伝えることや、村全体の年貢の納入をとりまとめることでした。
問10	答え 2 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。	松平定信は、田沼意次の後の政治を担い、困窮した旗本・御家人を救済するために借金を帳消しにする棄捐令を出しました。また、飢饉などで荒廃した農村を立て直すため、江戸に流入した農民に資金を与えて村に帰す旧里帰農令を出すなど、保守的な緊縮財政政策をとりました。株仲間の奨励は田沼意次の政策であり、松平定信はむしろこれらを抑制する傾向にありました。
問11	答え 1 琉球王国を支配下に置き、琉球が行っていた中国との朝貢貿易を通じて利益を得た。	薩摩藩は1609年に琉球王国へ出兵してこれを支配下に置きましたが、琉球と中国（明・清）との朝貢関係は継続させました。これにより、薩摩藩は琉球を通じて中国の産物を得る「中継貿易」を行い、幕府もこれを鎖国体制における例外的な窓口の一つとして公認していました。これにより薩摩藩は経済的な力を蓄えることとなりました。
問12	答え 2 商業の力を利用するため、商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、その特権を認める代わりに税を徴収しようとした。	当時の幕府は、米の収穫量に依存する年貢収入だけでは財政が立ち行かなくなっていました。そこで田沼意次は、商工業者の組織である株仲間を奨励して「運上」や「冥加」といった税を徴収したり、長崎貿易で銅や海産物を輸出して外貨を得たりするなど、貨幣経済の発展を前提とした積極的な政策を展開しました。
問13	答え 1 反射炉を建設して大砲を製造するなど、軍備の近代化や産業の育成を進めた。	藩政改革に成功して財政を立て直した雄藩（薩摩・長州・肥前・土佐など）は、その蓄えた富を背景に、西洋の科学技術を積極的に導入しました。具体的には、反射炉を築いて大砲を鑄造したり、洋式軍隊を組織したりして、軍勢力を飛躍的に向上させました。このような経済力と軍勢力が、幕末の政局においてこれらの藩が大きな発言権を持ち、倒幕運動の中心となる原動力となりました。